

財団法人 全日本ろうあ連盟
理事長 石野富志三郎 様

緊急災害時における放送についてのご要望について

拝啓

平素は、NHKの放送に格別のご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、貴連盟からいただきました「聴覚障害者支援について緊急要望（連本第120188号）」につきましてご回答申し上げます。

1. 緊急災害時におけるローカル番組を含むテレビ番組への「手話通訳と字幕」の付与について

このたびの九州北部豪雨の報道におきましては、「おはよう日本」「ニュース7」「正午のニュース」「ニュースウオッチ9」など、主な定時全国ニュースの延長編成措置を図りましたが、九州北部豪雨関連ニュースの字幕付与もそれにあわせた体制で実施いたしました。

手話ニュースにつきましては、九州北部豪雨の情報を中心に、大雨への警戒を繰り返し呼び掛けたほか、被害の状況や今後の見通しなどを詳しくお伝えしました。

NHKでは、ローカル放送で字幕放送がついていない場合でも、画面表示だけで状況把握できるよう逆L字画面できめ細かな情報を付加するなどの工夫をしています。

九州北部豪雨関連におきましても、7月12日の熊本における記録的短時間大雨情報（午前4時30分までの1時間）は、熊本局が逆L字画面にて午前4時31分から午前6時にかけてお伝えしました。さらにその後、避難勧告に関する情報が出た場合は、必ず画面に速報スーパーして対応しました。また、九州の各放送局では、7月12日から16日まで大雨に関する特設ニュースや逆L字画面による雨量、地域の被害状況や生活情報などをできるだけきめ細かくお伝えしました。

手話放送の実施時間の増加につきましても、専門技術者の確保などさまざまな課題があります。

NHKでは、定時全国ニュース番組への計画的な字幕拡充と音声自動認識方式の実用化に向けた研究とあわせて、インターネットやデータ放送等の伝送路を活用し、必要な情報をきめ細かくお伝えしていきたいと考えています。

2. 緊急災害時における、ローカル番組を含むニュース、その他の必要な情報の特定非営利活動法人CS障害者放送統一機構様への速やかな提供について

NHKでは、平成16年10月の新潟中越地震および平成19年7月の新潟県中越沖地震において、「CS障害者放送統一機構」様からのご要望を受け、NHKのホームページに掲載している地震関連情報を、一定の条件のもと提供させていただいております。また、昨年3月の東日本大震災におきましても、NHKのホームページに掲載しております「各放送局災害情報」の使用についてご要望をいただき、提供させていただきました。

このたびの九州北部豪雨では、ご要望はいただいておりますが、緊急災害時には、引き続きこれまで同様の対応をしていきたいと考えております。

緊急報道の際のニュース送出現場は、視聴者のみなさまにより迅速に最新の情報をお届けするために時間を争って対応しております。こうした状況での放送内容についての制作連携や放送実施以外での特定の相手先への情報提供につきましては極めて難しいことは、なにとぞ重ねてご理解いただきたく存じます。

貴連盟からいただきました貴重なご意見は、緊急報道をはじめとするNHKの放送等への参考にさせていただきます。今後ともNHKの放送事業にご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

敬具

平成24年7月27日

〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1
NHK編成局 計画管理部
中山 繁久